

医学生の入学期初における不適切な行動と学業成績の関連についての検討

1. 研究の対象

2014-2016 年に本学に入学した医学部医学科生を対象としています。

2. 研究目的・方法

医学教育において、遅刻、無断欠席、提出物の遅延、忘れ物といった学生の「不適切な行動」は、しばしばプロフェッショナリズムや規律の問題として捉えられてきました。しかし、授業内に観察される具体的な不適切な行動と将来の学業成績との関連性については、これまで十分に検討されてきませんでした。もしこれらの行動が学業不振と関連していることが明らかになれば、これらの不適切な行動を単なる「規律違反」として処理するのではなく、「早期支援が必要な学生のサイン」として捉え直すことが可能となります。特に、入学直後の早期医療体験実習という早い段階でリスクのある学生を特定できれば、より早期かつ確かな学習支援体制の構築に寄与できるため、本研究は教育現場において高い実用性と意義を持ちます。

本研究の目的は、高知大学医学部における EME で観察された学生の不適切な行動と、その後の学業成績（留年や試験成績）との間に関連があるかどうかを明らかにすることである。また、関連がある場合、それらの行動が将来の学業成績にどの程度影響を与えるのかをさらに検証します。

なお本研究は、倫理委員会承認日～2028 年 3 月 31 日までを研究期間として設定しています。

本研究は、2014 年度から 2016 年度に高知大学医学部に入学し、1 年次の必修科目である EME を履修した学生 330 名を対象とします。具体的には、以下の 2 種類のデータを収集し、関連性を分析します。

不適切な行動の記録（EME 期間中）：教職員の観察に基づき記録した項目を使用します。

学業成績データ：

- ・進級・留年の状況：留年することなく進級したか、あるいは留年を経験したか
- ・学業成績：各科目の成績

3. 研究に用いる試料・情報の種類

対象者の留年の有無、再試験の数等、本学における教育過程で得られた測定データ（診療情報以外）

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて学生もしくは学生の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも学生に不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先（研究責任者）：

国立高知大学医学部附属 医学教育創造センター 黒江 崇史

〒783-8505 高知県南国市岡豊町小蓮

TEL 088-880-2291

FAX 088-880-2276

-----以上